



CMMMA Colloquium

09

第9回 現象数学コロキウム

数理モデルで 明らかになる 植物の生き方



講演者：北海道大学 佐竹 暁子
Akiko SATAKE

2014年12月12日(金)

16:30~17:30

会場：明治大学中野キャンパス
高層棟6階 セミナー室3

※ 参加費無料、事前申し込み不要です。どなたでもご参加いただけます。

明治大学先端数理科学インスティテュート
現象数学研究拠点



Abstract:

一日に昼と夜があり、一年に春夏秋冬がある、というように私たちを取りまく環境は常に変化しています。独立栄養生物であり動くことのできない植物は、こうした環境の変化を敏感に感じ取りそれに適応的に応答する独自の戦略を進化させてきました。

植物は光がなく光合成ができない夜にも昼と同様に成長できるのはどうしてでしょうか？

カレンダーを持たなくとも刻々と変わる季節を感知し、毎年同じ季節に開花するために必要な仕組みはどういったものでしょうか？

本講演では、概日時計と開花遺伝子ネットワークに関わる知見を数理モデルと融合させることで、こうした問題を見通しよく説明できることをお話したいと思います。

■連絡先

東京都中野区中野 4-21-1 明治大学中野キャンパス 8階
明治大学先端数理科学インスティテュート

Tel. 03-5343-8067 E-mail : mims@mics.meiji.ac.jp